

延岡市第三セクター等経営状況および点検評価結果報告書

1 作成基準日	令和6年6月17日	作成担当課室	総合福祉課	電話番号	22-7016(内線2606)					
2 名称等	名称	株式会社ヘルストピア延岡		代表者	代表取締役社長 読谷山 洋司					
	所在地	延岡市長浜町3丁目1954番地2		電話番号	0982-34-1111					
	設立年月日	平成5年4月6日		法人番号	3500-01-006998					
3 資本金	100,000	千円(市出資額: 65,000 千円)	(出資割合: 65 %)							
4 設立目的	延岡市の所有する余熱利用健康施設ヘルストピア延岡の管理業務及び運営業務を受託することを目的とする。									
5 事業(業務)内容	<ul style="list-style-type: none"> 延岡市の所有する余熱利用健康施設ヘルストピア延岡の管理業務及び運営業務 飲食物、その他の物品の販売施設の設置及び運営に関する事業。 各種イベントの企画及び運営業務。 									
6 役員数および給与の状況	【役員】	総数	役員報酬総額(千円)・R5年度	【正職員等】	総数	平均年齢	給与・賞与総額(千円)・R5年度			
	役員	8	0	正職員	6	56.5	23,679			
7 財務状況	貸借対照表	項目	金額(千円)			損益計算書・正味財産増減計算書	項目	金額(千円)		
			R3年度	R4年度	R5年度			R3年度	R4年度	R5年度
		資産合計	58,732	64,938	67,993		経常収益	156,010	159,411	170,246
		負債合計	45,376	44,384	43,954		うち市からの補助金・委託料	78,663	69,260	57,994
		純資産合計	13,356	20,554	24,039		経常費用	146,237	152,005	166,507
		利益剰余金	△ 86,644	△ 79,446	△ 75,961		経常利益(損失)	9,773	7,406	3,739
							当期利益(損失)	9,564	7,198	3,486
				当期利益(減価償却前)	11,363	9,054	5,645			
8 第三セクター等経営状況チェック表による予備的診断評価	B	A	経営努力を行いつつ事業は継続							
		B	事業内容の大幅な見直し等による抜本的な経営改善が必要							
		C	深刻な経営難の状況にあり、経営の観点からは、事業の存廃を含めた検討が必要							
9 第三セクターへの関与の状況	(1)財政的関与									
	項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)					
		R3年度	R4年度	R5年度						
	①	運営補助金	0	0	0					
	②	①以外の補助金	0	0	0					
	③	指定管理料	78,663	69,260	57,994	ヘルストピア延岡の管理運営 ※指定管理料は税込みの金額				
	④	事業委託料	0	0	0					
	⑤	税の減免額	0	0	0					
	⑥	短期貸付金残高	0	0	0					
⑦	長期貸付金残高	0	0	0						
⑧	その他	0	0	0						
(2)人的支援										
<人的支援の内容>										
10 施設利用者等の推移	施設名	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度			
	温浴施設	165,431	177,852	86,973	118,379	130,684	149,628			
	プール施設	56,290	57,491	13,312	26,966	34,006	45,734			
	両方利用	13,352	14,850	3,948	6,811	8,783	12,210			
11 大規模修繕等の計画	<p>・現在、大規模修繕等の計画は無いが、令和5年度に施設や設備の全体的な調査診断を行っており、その結果を基に計画的に設備等の更新や修繕を行っていく。[R6予算:15,789千円(R5からの繰越額を含む)]</p> <p>【最近の修繕】R5:8,076千円、R4:4,962千円、R3:1,573千円</p>									
12 今後の取組み等に関する特記事項(所管課)	<ul style="list-style-type: none"> ヘルストピア延岡ビジョン策定検討委員会において示された「ヘルストピア延岡の今後のあり方と進むべき方向について」を受けて経営改善に取り組んでいる。 2階空きスペースについて、令和5年度「ヘルストピアを活用した新たな介護予防事業の実施可能性調査」(健康長寿課 実施)により、介護予防などを目的とした運動プログラムでの活用の可能性が示された。今後も、健康長寿課とともに活用方法を検討し、実行に移していく。 令和5年12月に新たな売店テナントが入り、売店による収入が安定した。 令和5年度は入館者増を図るため、季節ごとのイベントや開館30周年の記念イベントを実施した。また、外部講師を招いて職員研修を行い、経営面の意識改革やサービス向上等に努めた。今後も、施設の安全管理を最優先に取り組みながら、経営の安定化を図る。 開館から30年が経過し、設備等の老朽化が進んでいるため、令和5年度に全体的な調査・診断を行った。今後は、長寿命化に向けて計画的な修繕を施すとともに施設のあり方について検討する必要がある。 									